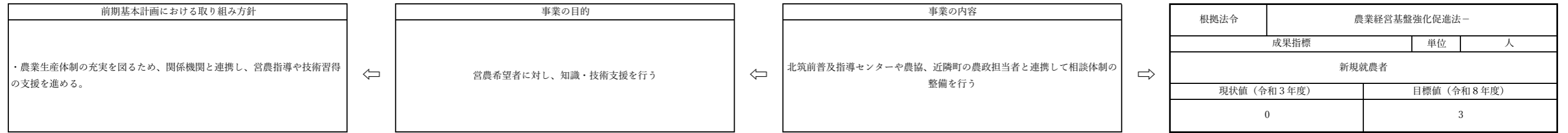


第4次久山町総合計画 前期基本計画対応 実施計画					分野			産業			政策			農業の恵み、森林の豊かさを守る			施策			①農業生産体制の構築と生産基盤の充実		
実施年度	令和	4	年度	予算科目	会計	款	項	目	継続	事業名	担い手育成事業						担当課	産業振興課				
					1	6	1	3									担当者	八丁 由香				

1. 事業概要



2. 実施内容（実績）

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			
Plan (計画)	就農に関する相談体制の整備			就農者の受け入れ体制を考える												
Do (実行)	新規の相談は1件で、未経験で農地を借りたいという内容で、希望に沿うことができなかった。 就農1年目の農業者の相談に応じ、北筑前普及指導センターとも連携し、病気ででている農作物の生育状況を見てもらったり、認定農業者に向けての、経営計画の検討を行った。															
活動実績	相談回数	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値
		回	3	2												
成果指標	新規就農者	単位	目標値	実績値	新規就農者	単位	目標値	実績値	新規就農者	単位	目標値	実績値	新規就農者	単位	目標値	実績値
		人	3	2		人	3			人	3			人	3	
Check (評価)	B	就農資金なし、農地なし、農業経験等がない外からの就農希望者の相談が多い。相談体制は整ってきたが、新規就農には結びついていない。														
Action (改善)	就農に関する相談窓口として必要な事業であり、技術的なことは県の普及指導センターやJAと連携を行いながら、新規就農に結び付けるための支援を行って参りたい。															
事業費	予算		決算		予算		決算		予算		決算		予算		決算	
直接事業費（歳出）	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)
事業費財源	0		0		0		0		0		0		0		0	
	特定	0	0		0		0		0		0		0		0	
	地方債	0	0		0		0		0		0		0		0	
	一般	0	0		0		0		0		0		0		0	
人件費	513.37		436.93		504.92		0		0		0		0		0	
	0.065		0.065		0.065		0		0		0		0		0	
	7.898		6.722		7.768		7.768		7.768		7.768		7.768		7.768	
事業費合計	513		437		505		0		0		0		0		0	
町民一人あたりの負担額	55.535	円	47.266	円	54.223	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円

令和4年度事務事業評価シート

事業番号	事業名
産業1-1-68	担い手育成事業

PLAN(計画)⇒DO(実施)については総合計画進捗管理票にて記載

CHECK(評価)

No.1

自己評価	評価者	八丁 由香	5	大	↔	小	1	↓
1. そもそも必要な事業か?								
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。緊急性が高く、即時に実施しなければならない。実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	評点	判定						
	3	B						
	4							
	3							
	4							
評価理由 担い手が減少しており、育成は必要であるため。								
2. 町が実施する必要があるか?								
町が実施主体となることが法令等により定められている。公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。民間等や国・県で実施するよりも効果的である。民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	-							
	3	B						
	4							
	3							
評価理由 町民の身近にいるのは町なので、相談にのりたいと思うが、知識・技術支援は民間の力も借りたところではあるため。								
3. 実施内容は適切か?								
①有効性								
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。事業の手法・活動内容は適切である。事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	B						
	3							
	3							
評価理由 相談体制は北筑前普及センターとも連携して、できているが、相談者は少なく、担い手育成への成果はあがっていない。								
②効率性								
事業費に見合った成果を上げている。外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	C						
	3							
	3							
評価理由 成果があがっていないため。職員の人件費以外は発生していない。								
③公平性・透明性								
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)事業費に占める一般財源の額は妥当である。ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	A						
	5							
	3							
評価理由 費用はかかっていないため。								

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

自己評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

北筑前普及センターとの連携は進んでいるが、相談者は少ない。また、非耕作地は獣害の多い場所や条件が悪い所ばかりで、転用を希望している人も多く、新規就農者へ紹介できる土地もない。やる気のある人を受け入れ、担い手になってもらうため、受け入れ体制を考える必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.2

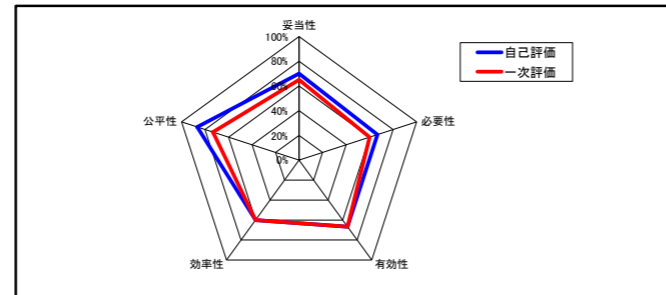
一次評価	評価者	阿部 桂介	5	大	↔	小	1	↓
1. そもそも必要な事業か?								
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。緊急性が高く、即時に実施しなければならない。実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	評点	判定						
	3	B						
	3							
	3							
	4							
評価理由 新規就農希望者への相談窓口は必要と考える。								
2. 町が実施する必要があるか?								
町が実施主体となることが法令等により定められている。公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。民間等や国・県で実施するよりも効果的である。民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	-							
	3	C						
	3							
	3							
評価理由 畜産する段階で県普及センターや地元農区長への情報提供等が必要となるため、町が実施する必要性があると考える。								
3. 実施内容は適切か?								
①有効性								
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。事業の手法・活動内容は適切である。事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	B						
	3							
	3							
評価理由 相談窓口の設置であり、県普及センターとも連携して実施できているので特に問題があるとは考えていない。								
②効率性								
事業費に見合った成果を上げている。外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	C						
	3							
	3							
評価理由 現段階ではこの事業に対する予算は計上していないため、この評価にしている。								
③公平性・透明性								
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)事業費に占める一般財源の額は妥当である。ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	B						
	3							
	3							
評価理由 現段階ではこの事業に対する予算は計上していないため、この評価にしている。								

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

農業後継者が減少する中で、就農希望者の相談窓口として事業を続けることは適当であると考え。また令和4年度からは県の相談窓口である北筑前普及改良センターと連絡体制を強化しており協力して事業を進めてまいりたい。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.3

二次評価	評価者	横山 正利
<input type="checkbox"/> A以下の点について、良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input checked="" type="checkbox"/> B計画どおり、現状のまま事業を継続する。 就農に関する相談窓口として必要な事業であり、技術的なことは県の普及指導センターやJAと連携を行いながら、新規就農に結び付けるための支援を行って参りたい。		
<input type="checkbox"/> C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するための計画の見直しを行う。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input type="checkbox"/> D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input type="checkbox"/> E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求め、 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

一次評価をやり直し、
月 日
までに提出すること。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.4

外部評価	今後の方向性 A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの <input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	C見直しの具体的内容 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他
評価	外部評価委員会の意見 ・本事業は非常に重要なものであるが、相談や紹介、あっせんのレベルに留まり、具体的な活動がなされていない印象がある。 ・農家については経営的な視点が必要となるため、農家を対象としたセミナー(支援制度、見学会、事業計画の作成や実地研修等)を行い、農家の収益性を上げる支援が必要ではないか。 ・若手就農者の方が楽しくやりがいを持って農業をやられている様子を情報発信していく必要がある。農業をやられている方がいかにコミュニティを広げるかが担い手育成に繋がると考える。 ・広報が難しいのであれば、広報担当課と連携しながら本事業の情報発信手法を考えていく等の連携が必要である。 ・対象の2事業を組み合わせる可能性も検討してもらいたい。	
経営者評価	経営者評価 町長 今後の方向性 A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの <input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	
評価	経営者会議の評価 現在、農業の担い手育成や新規就農者支援に繋げるため、農業者の収入安定化対策として、様々な新しい補助金制度を創設している。しかし、制度に関する情報発信が十分でないという現状は認識している。補助制度や支援制度を創設しても、それを実際に活用したい人に届かなければ意味がないと考えている。久山で農業をやりたいと考えた人が、迷う事なく受けられる支援までたどり着くための情報発信を行っていく必要がある。	

令和6年度予算要求事項(今後の取り組み)

畜産業周辺の臭気対策・環境対策に併せて、有機農業の推進と農作物の町内消費の促進をはかるため、令和6年度からミネラル堆肥の実証実験を行っていく。これにより、畜産農家及び水稲・野菜農家の収入面での支援となり、担い手育成や新規就農者育成に繋げていけるよう進めて参りたい。また、このような補助制度や支援制度についての情報発信として、ホームページで農業者支援等に関するページを作成する。